

令和2年度司法過疎地開業支援実施要領

連合会は、司法過疎対策・地域司法拡充事業の一環として、司法過疎地における開業を促進するとともに当該地での定着を図るべく、以下のとおり司法過疎地開業支援を実施する。

【対象地域】

司法書士が0名若しくは1名程度しか存在しない市町村又はこれに準ずる地域で、連合会が事業計画を遂行するに相当であると判断した地域

※特に、認定司法書士不在地域（0名）を主な支援対象とする。

【対象者】

上記地域において

- ① 令和2年4月1日以降に開業若しくは移転した司法書士会員（個人）又は設立若しくは従たる事務所を設置した司法書士法人
- ② 令和3年3月末日までに開業若しくは移転を予定している司法書士会員（個人）又は設立若しくは従たる事務所の設置を予定している司法書士法人
- ③ 令和3年3月末日までに開業予定の司法書士資格を有する者
- ④ 令和4年3月末日までに廃止された又は廃止が決定した災害復興支援事務所で、その地域で引き続き業務を行っている又は行うことを予定している常駐司法書士

※申込み時点において開業、設立又は設置予定である場合は、支援決定後3か月以内に登録申請を行うこと。

【要件】

- ① 司法書士会員及び司法書士資格を有する者については、司法書士法第3条第2項に規定する司法書士（いわゆる「認定司法書士」であること）、司法書士法人については認定司法書士である社員（特定社員）が常駐すること
- ② 司法書士法その他関連法令等に違背した事実がないこと
- ③ 5年以上は当該地において地域司法サービスに携わること
- ④ 簡裁訴訟代理等関係業務、法律相談に積極的に取り組むこと
- ⑤ 成年後見センター・リーガルサポートに加入し、成年後見業務に積極的に取り組むこと
- ⑥ 法テラスと民事法律扶助契約を締結し、民事法律扶助業務に積極的に取り組むこと
- ⑦ 司法書士会及び総合相談センターの事業に積極的に協力し、さらに法テラスをはじめとする地域の公的機関及び関係団体の要請にも積極的に応えること
- ⑧ はじめて交付を受けた年度から5年間、年1回以上、連合会が定めるところにしたがって業務状況を報告すること
- ⑨ 日司連会員研修規則に規定された単位を取得すること

【支援内容】

摘要	個人	法人
開業貸付金	180万円以内	180万円以内
定着貸付金※3	540万円以内※1	※2

※1 定着貸付金（個人のみ）は、原則として1年目は年240万円、2年目以降は年収が600万円に満たない不足部分につき、一定の上限（2年目は180万円、3年目は120万円）のもと交付する。

なお、「年収」とは、事業所得（売上[雑収入を含む]－経費）を示す。

※2 法人に対する定着貸付金の貸付けは行わない。

※3 定着貸付金の申し込みについては、連帯保証人が必要。

【貸付金の返還及び免除等】

- ・貸付金は、原則として最初の貸付日から4年経過後より、毎年分割により原則として5年以内に全額返還するものとし、具体的返還方法に関しては支援(貸付)契約に定める。ただし、貸付金に利息は付さない。
- ・連合会は、貸付金のうち開業貸付金につき、貸付を受けた者が、当該地域に3年を超えて事務所を置いた場合には貸付金の一部又は全部を、当該対象者が所属する司法書士会の意見を聴取の上返還を免除することができる。
- ・連合会は、貸付金のうち開業貸付金につき、貸付を受けた者が、災害復興支援事務所が廃止された地域に廃止後も引き続き半年を超えて事務所を置いた場合には貸付金の一部又は全部を、連合会が特に指定した地域(次ページ参照)に1年を超えて事務所を置いた場合には貸付金の一部を、3年を超えて事務所を置いた場合には貸付金の一部又は全部を、当該対象者が所属する司法書士会の意見を聴取の上返還を免除することができる。
- ・連合会は、貸付を受けた者にやむを得ない事由があるときは、定着貸付金の返還の猶予又は免除をすることができる。
※詳細については連合会ホームページより地域司法拡充基金設置規則及び地域司法拡充基金運営細則を確認すること。

【募集期間】

令和2年12月1日(火)から令和3年1月29日(金)まで

※上記締切日消印有効とする。

【申込方法】

所定の申込書に必要事項を記入の上、必要書類を添付して連合会あて郵送にて直接申し込む

※申込書(申込様式1)、誓約書(申込様式2)及び連帯保証誓約書(申込様式3)は、司法書士会事務局又は連合会ホームページから入手すること。

【決定方法】

連合会にて審査の上、申込者が事務所を開業、移転、設立又は設置しようとする地域を管轄する司法書士会の意見を聴取して決定する。

なお、現在所属する司法書士会又は過去に所属した司法書士会に対し、必要に応じて申込者について照会(懲戒等の処分歴及び研修受講状況等)する。

支援決定時期は、令和3年3月を予定しており、結果は連合会から各申込者に対して通知する。

【交付方法】

契約締結後、支援決定者又は法人に対して直接交付する

※交付時期は、令和3年3月下旬以降、支援(貸付)契約に定めた方法による。

【添付書類】

- ・誓約書(申込様式2)
- ・連帯保証誓約書(申込様式3)
- ・住民票 ※本籍の記載があるものとする。
- ・開業、移転、設立又は設置に関する計画書
※適宜の様式による。すでに開業等している場合には、開業等の経緯及び現状に関する報告書を提出する。
- ・登記事項全部証明書(法人のみ)

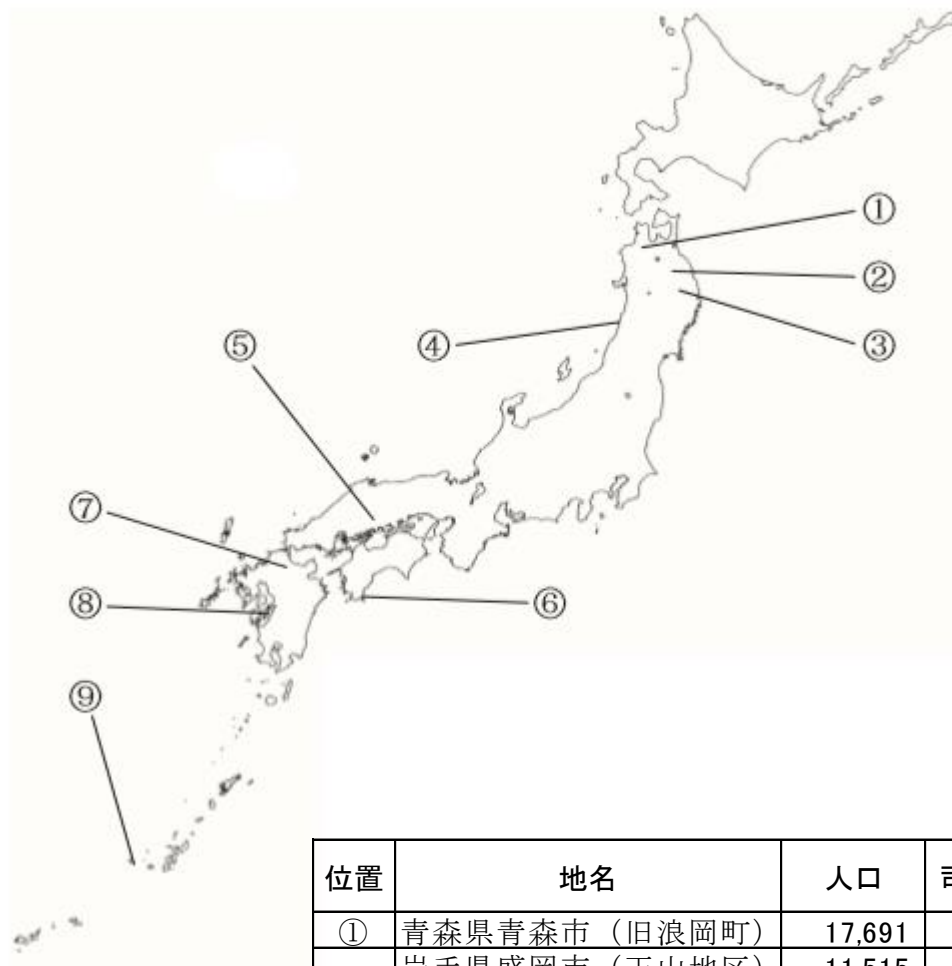
【その他】

申込み時点において、開業、移転、設立又は設置予定である場合は、事後速やかに開業等した旨を連合会へ報告すること。

☆連合会が特に指定した地域について

連合会では、より実効的な司法過疎対策・地域司法拡充事業遂行のため、司法アクセスが困難であると思われる地域の現地調査を実施し、各地の個別具体的な状況の把握及び情報収集を行っています。

調査に基づき、以下の11の地域については、地域住民の司法アクセス確保のための対応が特に必要と認定しました。関心のある方は、連合会事務局までお問い合わせください。



位置	地名	人口	司法書士数	認定 司法書士数
①	青森県青森市（旧浪岡町）	17,691	0	0
②	岩手県盛岡市（玉山地区）	11,515	0	0
	岩手県岩手郡岩手町・葛巻町	19,154	0	0
③	岩手県下閉伊郡岩泉町	9,158	2	0
④	山形県飽海郡遊佐町	13,655	0	0
⑤	広島県世羅郡世羅町	16,072	2	0
⑥	高知県高岡郡津野町	5,731	0	0
⑦	福岡県田川郡添田町	9,642	0	0
⑧	熊本県天草郡苓北町	7,129	0	0
⑨	沖縄県島尻郡久米島町	7,772	0	0

※人口は、住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数（令和2年1月1日現在）に基づく。

ただし青森県青森市（旧浪岡町）は令和2年4月1日現在（青森市HPに基づく。）

岩手県盛岡市（玉山地区）は令和2年8月末現在（盛岡市HPに基づく。）

※司法書士数は令和2年4月1日現在

(申込様式1-個人)

司法過疎地開業支援申込書

令和 年 月 日

日本司法書士会連合会
会長 今川 嘉典 殿

氏名 印

私は、司法過疎地開業支援を受けたいので申し込みます。

(ふりがな) 氏 名			写 真 3cm×3cm
生年月日 (西暦)	_____年_____月_____日生	性 別 男 ・ 女	
本 籍			
住 所	〒 TEL : _____ / FAX : _____		
事務所設置 (予定)地	〒 TEL : _____ / FAX : _____		
第二候補地 <small>※ある場合のみ記入</small>	_____都・道・府・県_____市・町・村_____		
登録履歴等	開業・移転(予定)日	_____年_____月_____日 開業・開業予定	
	司法書士登録申請書 [変更の登録申請書] 提出日	_____年 _____月_____日 提出・提出予定	
	初回入会登録日 <small>※既会員のみ記入</small>	_____年 _____月_____日 入会登録	
所属会履歴	※過去に所属した司法書士会がある場合、所属会及び期間を記入		

※ 添付書面：住民票，誓約書，連帯保証誓約書，開業・移転計画(報告)

(申込様式1-法人)

司法過疎地開業支援申込書

令和 年 月 日

日本司法書士会連合会
会長 今川嘉典 殿

司法書士法人名

代表社員

印

当法人は、司法過疎地開業支援を受けたいので申し込みます。

司法書士法人 名称		
主たる事務所 所在地	〒 TEL : _____ / FAX : _____	
従たる事務所 設置(予定)地	〒 TEL : _____ / FAX : _____	
上記従たる 事務所に 常駐する 特定社員	登録番号 第 _____ 号 氏名 :	
	登録番号 第 _____ 号 氏名 :	
	登録番号 第 _____ 号 氏名 :	
	登録番号 第 _____ 号 氏名 :	
上記事務所 以外の 従たる事務所 所在地	〒 _____	〒 _____
	〒 _____	〒 _____
	〒 _____	〒 _____
支援を希望する 事務所の設置 (予定)日等	事務所設置日	_____年_____月_____日 設置・設置予定
	成立届提出日	_____年_____月_____日 提出・提出予定

※ 添付書面：住民票，誓約書，設置計画(報告)，登記事項全部証明書

誓約書

令和 年 月 日

日本司法書士会連合会

会長 今川 嘉典 殿

現住所

(自宅)

氏名

印

(自署)

私は、貴連合会が実施する司法過疎地開業支援を受けることを希望し、支援要件に相違なく、条件を遵守することを誓約します。

なお、上記に違背したと判断される場合には、支援(貸付)の停止及び貸付金の返還に応じることに異存ありません。

また、私は司法書士法その他関連法令に違背した事実はありません。

誓約書

令和 年 月 日

日本司法書士会連合会

会長 今川 嘉典 殿

法人名

所在地

代表社員

(自署)

印

常駐社員

(自署)

印

当法人は、貴連合会が実施する司法過疎地開業支援を受けることを希望し、支援要件に相違なく、条件を遵守することを誓約します。

なお、上記に違背したと判断される場合には、支援(貸付)の停止及び貸付金の返還に応じることに異存ありません。

また、当法人及び社員は司法書士法その他関連法令に違背した事実はありません。

(申込様式3-個人)

連帯保証誓約書

令和 年 月 日

日本司法書士会連合会

会長 今川 嘉典 殿

現住所

(自宅)

氏名

印

(自署)

私は、貴連合会と_____が締結する司法過疎地開業
支援契約に基づき、定着貸付金の支援(貸付)に関して同人が負担する債
務の履行を連帯して保証することを誓約します。